

参加者の声

ドンドンさん
(フィリピン出身、徳山)



スポーツの話題では、いつもより話すことができました。次回もまた参加したいです。次は料理をみんなで作ってみたいです。

ソフィアさん
(アメリカ出身、久保尾)



教室全体が良い雰囲気です。友だちもできて参加して良かったです。もっと日本語を勉強したいと思い、家でも勉強するようになりました。

イマムさん
(インドネシア出身、徳山)



仕事では自分の日本語に自信がなく、うまく話せませんでした。ここでは間違えてもいいんだと思って楽しく話しました。

ギン・シネイさん
(中国出身、田代)



参加者の優しいサポートのおかげで知らない日本語を楽しく学ぶことができました。もっと日本語がうまくなりたいです。

宮嶋綾女さん・那歩さん
(藤川)



参加者の皆さんがとてもポジティブかつ優しい雰囲気です。楽しめました。参加して良かったです。

野崎悦子さん
(下長尾)



教室を通じて、たくさんの方の方が川根本町に住んでいることを実感しました。町民の皆さんにも知ってもらえるとうれしいです。

指導者：篠宮理恵さん(島田市)



知らない土地で慣れない生活、分からない日本語…安心して暮らすために必要なものは、心のよりどころです。「ほんごHIROBA」では、日本人住民と対話交流しながら必要な日本語を身に付けていきます。令和7年度は6回を通して「互いに知りたい・伝えたい」「また会いたい」という思いがあふれた、すてきな時間となりました。教室が終わった今、どこかで会えば声をかける存在、同じ町で暮らす住民になれたことと思います。まずは知ることから始めてみませんか？令和8年度に、ぜひサポーターとして参加してみてください。お待ちしております！

【問】経営戦略課 ☎0547(56)2221

多文化共生のまちづくりへ

多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築いていこうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと



川根本町で暮らす外国人住民は…

118人(全人口の2.14%)

町では、外国籍住民にも地域の一員として毎日楽しく生活していただけるよう、静岡県や町内事業所と協力し、料理やスポーツ、伝統芸能などを切り口とした交流事業や、町民を対象とした「やさしい日本語教室」などに取り組んできました。

その中で、参加者から言葉や文化の違いに苦労している旨の声や、町民との関わりを求める声を確認しました。そこで町では令和7年度から、地域住民がサポーターを務めるという新たなスタイルの日本語教室の開催に取り組んでいます。



参加者全員で作る対話交流の場

「川根本町にほんごHIROBA」

「川根本町にほんごHIROBA」は、外国籍住民と町民有志のサポーターが集まり、交流を楽しみながら日本語や日本の文化について学ぶ講座です。町では、この講座の定期的な開催を目指し、令和7年度は試行的に計6回の講座を開催しました。終始和やかなムードの中で、6ヵ国延べ65人の外国籍住民と、延べ47人のサポーターが交流と学習を楽しみました。

「川根本町にほんごHIROBA」は、令和8年度から定期的開催していく予定です。興味がある方は経営戦略課までご連絡ください！



一つのテーブルに学習者とサポーター(中央)が座り、テーマについて話します。



テーマが「スポーツ」の会では、玉入れをして盛り上がりました。



テーマが「年中行事」の回では、福笑いに挑戦しました。